慣用句(上級)プリント1（ルビつき） No.15（ルビつき）

なまえ

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

出席番号　　必要な人は書く

問1 「痛しかゆし」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 昇進は嬉しいが責任も重くなるという、まさに痛しかゆしの心境だ。
- ○ 虫に刺されて痛しかゆしで、夜も眠れず困っている。
- ○ 彼は痛しかゆしの表情で、激しい腹痛を訴えていた。
- ○ 怪我の痛しかゆしが治まらず、病院へ行くことにした。

問2 「身の毛がよだつ」の意味はどれですか？

- ○ 恥ずかしさで、顔から火が出る
- ○ 非常に驚いて、体が硬直する
- ○ 怒りのあまり、髪の毛が逆立つ
- ○ 恐ろしさや不気味さで、ぞっとする

問3 「後ろ髪を引かれる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 強風で後ろ髪を引かれるような感覚があり、歩きにくかった。
- ○ 後ろ髪を引かれるほど、彼女の髪は長く美しく伸びていた。
- ○ もっと遊びたかったので、後ろ髪を引かれる思いで帰宅した。
- ○ 美容院で後ろ髪を引かれるように、強くカットしてもらった。

問4 彼はただでさえ遅刻が多いのに、今日は（　）をかけて遅れてきた。（　）に入る言葉はどれですか？

- ○ 鎖
- ○ 輪
- ○ 紐
- ○ 枠

問5 「気を紛らわす」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 悲しい気持ちを忘れるために、読書をして気を紛らわす。
- ○ 彼は気を紛らわすのが得意で、すぐに人を怒らせる。
- ○ 試験の準備で気を紛らわすほど、忙しい日々を送る。
- ○ 気を紛らわすために、わざと大きな音を立てて歩いた。

問6 「羽を伸ばす」の意味はどれですか？

- ○ 遠くへ出かけて、見聞を広めようと努力する
- ○ 隠していた本性を表に出して、周囲を驚かせる
- ○ 新しい環境で、自分の能力を最大限に発揮する
- ○ 束縛から解放されて、のびのびと心身を休める

問7 「身に余る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 身に余る服を着ていると、周囲から浮いてしまう。
- ○ 身に余るほど雨がふり続けて、楽しみにしていた遠足は中止になった。
- ○ このような素晴らしい賞をいただき、身に余る光栄です。
- ○ 身に余るほど足が速いので、運動会で一位になって喜んだ。

問8 今回の成功は彼のおかげなので、最後は彼に（　）を持たせる。（　）に入る言葉はどれですか？

- ○ 葉
- ○ 花
- ○ 木
- ○ 実

問9 「気が気でない」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 合格発表を待つ間、不安で気が気でない。
- ○ 彼は気が気でないので、いつも落ち着いて行動する。
- ○ テストで満点を取れて、気が気でないほど嬉しい。
- ○ 気が気でないほど、今日は天気が良くて気持ちいい。

問10 「釘付けになる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 板を釘付けにして、丈夫な棚を作った。
- ○ 釘付けの作業が終わるまで、動くことができない。
- ○ 壁にポスターを釘付けにして飾った。
- ○ 映画の迫力ある映像に、すっかり釘付けになった。

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう